

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	17-038	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名（原題／訳）</b>		
Social and economic consequences of alcohol use disorder: a longitudinal cohort and co-relative analysis. アルコール使用障害の社会経済的影響：縦断的コホートと相関解析		
<b>執筆者</b>		
Kendler KS, Ohlsson H, Karriker-Jaffe KJ, Sundquist J, Sundquist K.		
<b>掲載誌</b>		
Psychological Medicine (2017), 47, 925–935 doi:10.1017/S0033291716003032		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール使用障害、早期退職、収入、経済支援、非雇用		27917730
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>アルコール使用障害（AUD）は将来の心理社会的機能障害と関連することは明らかであるにも関わらず、AUD の社会的な影響の大きさやその要因については明確に示されていない。本研究は、スウェーデン国民登録データを用い、AUD と社会的要因との関連を検討した。</p> <p><b>方法：</b>本研究では、スウェーデンにおける国民登録データおよびSwedish Longitudinal Integration Database for health insurance and labor market studiesのデータを用いた。AUDは医療、犯罪（飲酒運転）、薬剤情報を基に評価した。COX比例ハザードモデルを用い、AUDによる早期退職・非雇用・社会的補助のハザード比（HR）および95%信頼区間（CI）を算出した。また、回帰モデルを用い、50歳未満で発症したAUDと50歳時の収入との関連（<math>\beta</math>および95%CI）を検討した。さらに、これらの関連が既知の交絡因子（教育歴、家族の社会的地位など）や、従兄弟・異母兄弟・兄弟・一卵性双生児といった因子によりどの程度減弱するかについても検討した。</p> <p><b>結果：</b> 解析対象者数は67万人～110万人であった。全体として、AUDは女性に比べ男性で3-4倍多かった。男性において、AUDは社会的補助有（HR: 8.27, 95%CI: 7.96-8.59）となるリスクが高く、続いて、早期退職（HR: 5.63, 95%CI: 5.53-5.72）、非雇用（HR: 2.75, 95%CI: 2.65-2.85）の順でリスクが高かった。50歳未満発症のAUDは、50歳時収入の約1/5-1/4の減少と関連した（<math>\beta</math>: -0.24, 95%CI: -0.25 to -0.23）。女性においても同様の結果であった。これらの関連は、既知の交絡因子で調整後、ある程度減弱した。また、一卵性双生児を含めた家族別に検討しても、同様の関連を認め、弱いながらも有意であった。</p> <p><b>結論：</b> 本研究より、AUDは心理社会的な機能低下と関連することが分かった。AUDと社会的機能障害との関連には、家族の影響が関与していると考えられる。</p>		